

事業所名 児童発達支援事業所kids いじょう

支援プログラム (参考様式)

作成日 2024 年 9 月 日

法人(事業所)理念	出会いを大切に目(EYE)を離さず愛情を持って一人ひとりを大切に個性を伸ばす。		
支援方針	子ども一人ひとりの発達や特性、保護者さまの要望を考慮して教材を組み合わせオーダーメイドの療育を行います。耳から情報を得ることが苦手な子どもや見通しが立たないことに不安を感じる子どもには、写真や絵カード、スケジュールボードを使った視覚支援をしています。日々の療育活動を通して成功体験を増やし、自己肯定感を育んでいきます。		
営業時間	10時00分から	16時00分まで	送迎実施の有無 あり
支援内容			
本人支援	健康・生活	毎朝の検温や行動や表情等から健康状態の把握し維持・必要に応じて改善を支援 手洗いの促しやお子さんに合わせたタイミングでの排泄などを促す中で生活リズムを整え、健康の増進を支援 衣類の着脱や昼食のスムーズなやり方を伝えることで基本的な生活スキルの獲得を目指し支援 生活の中で様々な遊びを通して学習しやすいよう、時間や空間をお子さんに分かりやすいような構造化によって支援	
	運動・感覚	理学療法士による直接支援や、助言による運動活動の支援により一人一人の発達段階に合った運動面(姿勢や運動動作の向上)を支援 姿勢や運動動作の向上をねらいとし、必要に応じて個々に合わせた補助的手段(椅子の工夫・踏み台の活用)を用いて支援 個々の感覚面のアセスメントを行った上で、感覚刺激を取り入れ、遊びを通して感覚の統合的な活用を促すよう支援 過敏や鈍感が和らぐよう、好む刺激を入れる支援を実施(揺れあそび・触覚あそび等)	
	認知・行動	個々の認知発達に合わせた、個別療育を一日30分以上支援(微細運動・空間認知・言語発達・ソーシャルスキル等) 感覚から認知へつなげる為に必要な情報処理を促し認知機能の発達を支援 認知→行動へと繋げるよう、具体的な行動にて支援 物や空間などの概念形成を図ることで、認知や行動の手掛かりとなる概念の形成を支援 数量・大小・色等将来の学習につながる基礎力構築を支援 適切な行動の学習と、問題提議行動の予防へ向け、応用行動分析やタイプに合わせた構造化による支援	
	言語 コミュニケーション	言葉や文字等を使って相手の意図を理解したり(受容)、自分の考えを伝える(表出)支援 言葉のコミュニケーションに限らず絵カードや指差しなど、その子に合った意思伝達方法を身につける支援 指差し、身振り、サイン等を用いて環境の理解と意思の伝達ができるような支援	
	人間関係 社会性	朝の会や小グループでの運動遊びや製作活動を通して、集団への参加を支援 大人とからスタートし、徐々に安心できる人や活動を広げていくことで、他者との関りである人間関係の形成を支援 お子さん自身がどんな環境だと過ごしやすいか、うまく行くかを成功体験の中から感覚としてつかみ、自己理解を促すよう支援 自己理解の上で、行動調整を行えるよう構造化を行ったり、気持ちの調整を行ったりする中で行動の調整を行えるよう支援	
家族支援	HUGを活用して日々の療育内容がみられるように支援する 個別の相談に関して随時受付し、ご家族と一緒にお子さんの成長やご家族の生活の質を高める方法を検討する	移行支援	地域の保育園や幼稚園、就学先に向けてのご家族への情報共有の実施 移行にあたっての、情報提供書や引き継ぎ書をご家族と作成
地域支援・地域連携	相談支援事業所や、併用施設(幼稚園・保育園・発達支援事業所)と情報共有しながら、お子さん・ご家族が関わる全体で地域で支援を行っていく 近隣の図書館を活用し、地域のイベントに参加したり、社会的なマナーや図書館の活用の仕方などを学べるよう支援する	職員の質の向上	利用者一人ひとりに合った支援をおこなえるよう、療育やご家族支援の質の向上等を目的とした研修・勉強会を定期的に行っています。 また、利用者のご家族様に安心してご利用いただくために、職員間で情報をしっかりと共有し、支援方法を統一できるよう、会議の時間を設けています。
主な行事等	公共図書館のお話会、戸外活動、療育体験会 季節ごとの活動(こいのぼり作り、感触遊び、氷あそび、ふうりんづくり、花火の壁面製作、クリスマス製作など)		